

地域計画

策定年月日	令和7年7月17日
更新年月日	令和8年3月17日 (1回目)
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	洲本市 (28205)
地域名 (地域内農業集落名)	池田 (池田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	20.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	18.7 ha
② 田の面積	19.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域においては、水稻と露地野菜、酪農や繁殖和牛を組み合わせた複合経営が多い。農地については、ほ場整備農地が大半で、サイフォンによる給水設備も整っており、優良農地について放棄田の発生はほぼない。一方で大規模経営体はなく、高齢農家が多く、また山裾に位置するため、鹿による獣害対策も課題となっている。新規参入者も数例あるが、10年先を見据えた時、管理できなくなる農地が出てくる懸念がある。後継者が経営を順調に継承している農家もあるが、移住者を含めた新たな担い手確保も必要であると考えている。
農業者:20人(うち、50歳未満あるいは後継有6人)、他地区からの入作2人(うち、50歳未満1人)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

後継者や参入者による露地野菜が増えており、水稻と露地野菜は慣行法により栽培されている。地区内の畜産農家との耕畜連携も盛んに行われており、WCS用稲や牧草を家畜の飼料として利用し、畜産農家の堆肥を有効に活用した連携を今後も推進していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地域農業を担う者の高齢化が進んでいることから、農業後継者や新規参入者などが現れたら優先的に農地を集積していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	19.4	%	将来の目標とする集積率
			19.4 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
当地域については、大きな面積を集約するような経営体はいないことから、空き農地があれば極力、地域で耕作する農家はその農地を担うこととする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域内農地については、原則、地域の担い手が優先的に借受け、効率的な農業経営ができるよう努める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
希望者があれば、活用していきたい。
(3)基盤整備事業への取組
地域内の農地については、基盤整備された農地が大半を占めている。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
水稻、野菜、畜産とすでに多様な経営体が確保できていることから、今後は後継者の育成を進める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
利用できるサービスがあれば検討していきたい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①近年、頻繁に鹿が出没するため、地域において有効な対策を検討する。
- ②、⑨引き続き地域内で耕畜連携の取り組みを推進する。
- ③スマート農業について、新技術を活用して作業の効率化、省力化を進める。
- ⑦農地水環境保全隊活動により、溜池、水路及び農道等の保守点検や補修等を行う。

